

令和5年度

多治見市立小学校・中学校

福祉共育のまとめ

令和5年度に市内の小中学校で行われた福祉共育や体験活動をまとめました。

高齢者や障がい者の疑似体験による思いやりの心の育成、地域や通学路の環境美化による社会貢献活動（ボランティア活動）、高齢者とのふれあい交流など様々な取り組みが行われました。

今後の取り組みの参考にいただければ幸いです。

社会福祉協議会では、学校で行われる福祉共育や体験活動を支援させていただきますので、お気軽にご相談ください。

掲載ページ

養正小学校	・ ・ ・ ・ ・ 1
精華小学校	・ ・ ・ ・ ・ 3
共栄小学校	・ ・ ・ ・ ・ 5
昭和小学校	・ ・ ・ ・ ・ 7
小泉小学校	・ ・ ・ ・ ・ 9
池田小学校	・ ・ ・ ・ ・ 11
市之倉小学校	・ ・ ・ ・ ・ 13
滝呂小学校	・ ・ ・ ・ ・ 15
南姫中学校	・ ・ ・ ・ ・ 17
根本小学校	・ ・ ・ ・ ・ 19
北栄小学校	・ ・ ・ ・ ・ 21
脇之島小学校	・ ・ ・ ・ ・ 23
笠原小学校	・ ・ ・ ・ ・ 25
陶都中学校	・ ・ ・ ・ ・ 27
多治見中学校	・ ・ ・ ・ ・ 29
平和中学校	・ ・ ・ ・ ・ 31
小泉中学校	・ ・ ・ ・ ・ 33
南ヶ丘中学校	・ ・ ・ ・ ・ 35
北陵中学校	・ ・ ・ ・ ・ 37
南姫中学校	・ ・ ・ ・ ・ 39
笠原中学校	・ ・ ・ ・ ・ 41

令和6年4月

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会 地域福祉課

電話25-1134 FAX25-1132

養正小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【福祉「体験活動を通して、差別・偏見のない持続可能な福祉活動を考える」】

内 容

体験や交流活動を通して、身のまわりの福祉について調べたり考えたりする。
(募金活動、障がい疑似体験、あいさつ運動、育友会活動との連携)

生徒のコメント

車いす体験や高齢者の体験をやってみて、そのたいへんさがわかりました。学んだことを参観日にお父さんお母さんたちに体験してもらいながら発表できました。勉強したことを伝えることができて、うれしかったです。

今年度は、能登半島で大きな地震がありましたが、児童会の人たちが呼びかけをしてくれて、たくさんの方が募金をすることができました。被害を受けた人たちが、はやく元どおりの生活ができるようになるといいなあと思います。

○ 活動面での総括

◎評価できること

高齢者疑似体験や車いすの体験、視覚しょう患者の方のお話から学んだことを、年度末の参観日の時に、実演などをしながら保護者に対して発表する場を作れたこと

△今後の課題

コロナの制限がなくなって、体験活動も増え、保護者や地域の方を学校へ招くこともできるようになったが、子どもたちが地域へ出て活動する場面をさらに増やしていきたい。



1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	鼓笛演奏を発表する場で、地域の方と交流できた。(運動会、たじみまつり鼓笛隊パレード)
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	児童の福祉体験や校内の異学年交流活動を、学年通信、広報、ホームページなどで、全校児童・保護者・地域の方にお知らせをした。
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	バリアフリーについて教室で学習した後、校内のバリアフリーについて調査した。さらに、まち探検の中で、地域にあるバリアフリーの様子について調査した。

1. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	校区に住んでみえる独居老人の方のところに、6年生が年賀状を送ることで交流をもった。施設の訪問などは、コロナ、インフルエンザ等の心配がまだあるため、実施できなかった。
地域での訪問・交流・体験活動	2年生の生活科まち探検を実施し、地域の方や保護者が見守りボランティアとして参加していただいた。4年生の社会科まち探検を実施した。2月の授業参観で、保護者に向けて発表会を行った。
学校行事への招待	運動会には、保護者だけでなく地域の方に児童の活動を見ていただいた。養正地域会議の方々を招待した。2年生の学習発表会には、まち探検で協力してくださった地域の方を招待した。
美化・環境整備活動等	まちづくり市民会議の皆さんの全面協力を得ながら、「花いっぱい運動」に取り組んだ。植ええや、苗の植え替えを行い、プレートを付けて地域に配った。また、お世話になっている110番の家にも届けた。
福祉体験	4年生が、車いす体験を校内で行った。また、社会福祉協議会の方に来ていただいて、高齢者体験も行った。視覚しょう患者の方に来ていただいて、お話を聞いた。
学校行事外の参加活動	養正公民館祭りに、各学級から作品(習字、絵画)を出品した。養正公民会の「公民館祭り」や「餅つき大会」について参加を呼びかけ、参加した児童もあった。
収集・募金活動	児童会を中心に、赤い羽根共同募金への呼びかけと募金活動を行った。「心のとも」活動を特別支援学級の児童を中心に行った。計画から封筒作成、全校放送による呼びかけ、注文等、活動全般を進めた。 児童会が呼びかけ、登半島地震の被災地支援のための募金を行った。児童、保護者、地域の方など多くの方が参加してくださった。
学校間の情報交換・交流等	近隣の多治見高校の生徒が来校し、5年生の外国語授業に参加した。(各クラス年2回)外国語指導教師とともに、コミュニケーション活動の補助を行った。
その他	



精華小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【障がいについて正しく知ろう】

内 容

車イス体験、アイマスク体験
聴覚障がいの方の話を聞く会
高齢者体験

児童のコメント

車いす体験は、実際に座って動かしてみると、見ている時にはわからなかった苦労や困り感がありました。

徳留さんの話を聞いて、困っている人がいたらみんなで助け合うことが必要だと学びました。

○ 活動面での総括

◎評価できること

- ・車イス、アイマスク等の体験的な活動を少人数のグループで行うことができたこと
- ・今年度も、聴覚障がいの方の話を直接聞き、学ぶことができたこと
- ・高齢者体験の学習をすることで、高齢者のことを身近に感じることもできたこと

△今後の課題

- ・学校内の学習器具を整えながら、継続的に学習をしていくこと。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・福祉委員会による「赤い羽根共同募金」の呼びかけ ・特別支援学級による「心の友運動」の呼びかけ
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	・バリアフリー調査（総合的な学習の時間）

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・高齢者（独居老人）への年賀状（4年生）
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	
福祉体験	・4年生の総合的な学習の時間におけるアイマスク体験，車イス体験，聴覚障がいの方の話を聞く会、高齢者体験
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	・アルミ缶回収 ・赤い羽根共同募金
学校間の情報交換・交流等	・居住地校交流（東濃特別支援学校） ・東濃特別支援学校とのオンライン交流
その他	



共栄小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【花いっぱい運動や太鼓学習の体験・福祉体験・保育園交流を通して、地域の方や文化とふれあい郷土愛をはぐくむ。】

内 容：

- ①学校で育てた花を地域に配布し、花いっぱいの共栄にして地域の方に喜んでいただく。
- ②地域の文化の一つである太鼓を地域の方から学び、自分たちが育つ地域のことをより深く理解する。
- ③保育園児や福祉学習の講師の方との交流を通して、福祉の大切さを感じる。

児童のコメント：

自分の生活の中にも障がいをもつ人や老人がいます。いろいろな体験をして、荷物を持ったり、困っていることがないか声をかけたりしていきたいと思いました。

○ 活動面での総括

◎評価できること

3年生では例年の活動である「花いっぱい運動」や種からマリーゴールドを育てて地域にかざってもらう活動を引き続き行った。さらに、5年生では、今年度は白杖体験・車椅子体験・高齢者福祉体験のほかに、ボッチャを通した高齢者との交流、保育園児との交流、障がいがある人を講師に招いての講話など、交流を中心とした活動へ範囲を広げることができた。どの児童にも「この地域で生まれ育ってよかった。」という気持ちを育むとともに福祉の大切さを感じさせることができた。

△今後の課題

- ・今後も、3年生の二つの活動を継続していきたい。
- ・5年生の交流を含む活動を、今後も継続していきたい。
- ・児童の取組や活動について地域等に広報していくことを考えていきたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・アルミ缶回収による収益金を、能登半島地震被災者への義援金として送った協力へのお礼を報告書として全校へ配付。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	地域の方から、地域太鼓の伝統や歴史について学んだ。（３年生） ・聴覚障がい者の方の講話。（５年生） ・視覚障がい者の方の講話。（５年生）

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・花いっぱい運動を通して、地域の美化活動に関わった。（３年生） ・太鼓学習を通して、地域の文化について理解を深めた。（３年生） ・ボッチャを通して高齢者と交流した。（５年生） ・訪問したり、訪問してもらったりしながら保育園児と交流した。（５年生）
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	・生活向上委員会による、アルミ缶の回収活動を行った。 ・新入生を迎える準備として教室前にチューリップを植えた。
福祉体験	・車いす、白杖等の介護設備の使用体験を通して、障がい者福祉や老人福祉についての理解を深めた。（５年生）
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	・アルミ缶回収による収益金を、能登半島地震被災者への義援金として中日新聞社を通して送付した。
学校間の情報交換・交流等	
その他	・人権意識を高めることを目的に、生活向上委員会活動を中心に「さわやか挨拶運動」「挨拶の木」を行った。 ・１年生を迎える会や６年生を送る会で異学年による共同作業として体育館掲示等を行った。



昭和小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【「そっと やさしく さりげなく」】

内 容

- ・福祉を特別視するのではなく、いつでも、どこでも、だれにでも福祉は役立っていることを、すべての児童が理解できるようにする。
- ・座学のみならず、体験を通して、一人一人の実感として福祉を理解できる学習を進める。
- ・福祉を通して、福祉を必要としている方はもちろん、地域の方、家族、学級や学校の仲間に対して寛容に接し、良好な関係を築く力を育む。

児童のコメント

- ・視覚障がい者の方が、不便なこともあるけれど、みんなと同じように生活しているということが心に残りました。
- ・聴覚障害や視覚障害がある人も、普通の人たちみたいに生活しているんだということがすごく自分の学びになりました。
- ・障がい者を助ける方法や障がい者の生活、身の回りの福祉のこともたくさん知れたので良かったです。
- ・これからも自分にできることを考えて、障がいがある人が嫌な気持ちにならないように勉強してきたことを活かして助けてあげたいです。

○ 活動面での総括

◎評価できること

本校では、4年生の総合的な学習の時間に「福祉」をテーマとした学習を行っている。「福祉」について学びを重ねる中で、福祉の視点から、自分の身の回りのことや、世の中を見直すことができるようになってきた。そのために、さまざまな障がいをもった方を講師として招いて、話を直接聞く体験を通して、当事者が経験した、社会で生活する上での厳しさや、人々のやさしさや温かさを、具体的に学ぶことができた。さらに、障がいをもった皆さんを日常的にサポートしている方を講師として招いて体験学習を行ったことで、4年生の自分にもできそうなことや、これから身につけたい知識や技能について考えることができた。

△今後の課題

障がいをもった皆さんが、日常生活で使用している機材や体験セットを活用した体験学習を通して、社会の不便さや、バリアフリー社会の実現にはまだ程遠い現実を学ぶことができた。しかし、話を聞いたり体験したりして、実情について知ったり理解したりするところまでであり「自分たちにできること」を具体的に考えたり、「これからの世の中に望みたいこと」を思いつくなど、社会や世の中に働きかけようというところまではいけていない。ただ知る、理解するまででとどまることなく、当事者との関わり合いや交流をする体験を通して、福祉に対する個々の意志がもてるようにさせたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・聴覚障がい者を講師として、日々の体験や考え方についてご講演をしていただいた。 ・手話サークル桔梗の会の皆さんに来校していただき、手話によるコミュニケーション体験を行った。 ・学んだ手話を活用しようと、手話合唱に取り組んだ。取り組んだ成果を多治見市音楽祭で発表した。また、市民病院に出向きロビーで合唱を披露した。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・4年生児童が、障がいをもった方の講話を聴き、さらに体験学習をしたことと、自ら調べたことを壁新聞にまとめた。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・4年生児童を対象に、講話に来ていただいた障がいをもった皆さんや福祉にかかわるお仕事をしている皆さんと、話の後で、質問をしたり直接話をしたりして、講話からは聴くことができない暮らしの中身について話し合う姿があった。 ・6年生の児童が多治見市民病院へ出向き、伝統の鼓笛の演奏を披露した。 ・4年生の児童が多治見市民病院へ出向き、クリスマスコンサートで、合唱、手話合唱を披露した。
地域での訪問・交流・体験活動	・4年生の児童が、校区に住む高齢者（独居老人）の皆さんへ、年賀状を書いて送った。送った方からの返信もあり、児童が活動の意義を味わうことができた。 ・年賀状を送付する高齢者の皆さんのリストは、社会福祉協議会からお知らせいただいた。
学校行事への招待	・「福祉」について体験したり学習したりしたことをもとに、1年間の学習をまとめ、学習発表会を行った。学習発表会には、この1年間様々な体験や学習を支えていただいた、総合福祉センターの職員さんを招いて、発表を聴いていただいた。
美化・環境整備活動等	・「花いっぱい運動」として、地域の皆さんが育てた花の苗をいただき、プランターや植木鉢に植え替えられた苗が花をつけるまで、児童が世話をした。 ・育てた花が咲いたころ、地域の施設（市民病院・老人介護施設・保育園等）に、お手紙をつけて配付した。
福祉体験	・聴覚障がい者体験、視覚障がい者体験、手話体験、手話による合唱披露、パラスポーツ（ボッチャ）体験 など、様々な福祉体験をした。
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	・「赤い羽根共同募金」では、懇談会や参観日に来校した保護者の皆さんに協力をお願いした。募金で集めたお金は、総合福祉センターを通して寄付をした。
学校間の情報交換・交流等	
その他	



小泉小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【思いやりと感謝の気持ちのあふれる子】

内 容

視覚しょうがいがある方の体験（白杖体験・アイマスクの体験）や、聴覚障がいの方の講話、高齢者疑似体験、ボッチャ体験を通して、障がいで不便になるところを見つけ、自分ができを考える。

生徒のコメント

目が見えないとどんなことが大変なのか体験をしてみてはじめて分かりました。私たちにできることがあったら、声をかけたいと思いました。

○ 活動面での総括

◎評価できること

白杖体験・アイマスク体験、視覚しょうがい者の方の講話、高齢者疑似体験など多様な福祉体験をしたことで福祉についての理解が深まり、相手の立場に立って考えることの大切さがわかった。

△今後の課題

福祉体験を通して学んだことを、自分の身近な人や地域で出会った体の不自由な人に対しての行動に移せるようにすること。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・特記事項なし
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・学習したことや講話を聞いて学んだことを新聞にまとめた。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	「自分達の住む地域の伝統や歴史を知ろう!!」の活動では、地域にあるお菓子屋さんの職人技や伝統・歴史について学んだ。

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・特記事項なし
地域での訪問・交流・体験活動	・独居高齢者との年賀状の交流（４年生） ・わら打ち、縄繻い体験（３年生） ・昔遊び体験（１年生）
学校行事への招待	・感謝の会招待（２年生） ・ふるさと探検学習発表会招待（３年生）
美化・環境整備活動等	・環境委員の花植え活動
福祉体験	・アイマスク体験 ・白杖体験 ・聴覚障がい者の方の講話 ・高齢者疑似体験
学校行事外の参加活動	・特記事項なし
収集・募金活動	・能登半島地震への募金
学校間の情報交換・交流等	・特記事項なし
その他	・特記事項なし



池田小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【福祉体験を通して、福祉への関わりを考えよう。】

内 容

車いす体験、アイマスク、白杖体験、高齢者疑似体験、聴覚障がいの方の話を聞く会、視覚障がいの方の話を聞く会

生徒のコメント

アイマスク体験をしてみて、視界が真っ暗で、何も見えなくて怖かった。特に、階段ののぼりおりがふみはずしそうで心配だった。とても時間がかかって難しかった。介助の力がすごく大切だと感じたので、機会があれば、声かけをしたり、手助けをしたりしたい。

○ 活動面での総括

◎評価できること

車いす体験、アイマスク、白杖体験、高齢者疑似体験、聴覚障がいの方の話を聞く会、視覚障がいの方の話を聞く会など、体験的な活動を行うことができた。

△今後の課題

学んだことを学校生活や地域に生かしていくこと。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・ 児童会による「赤い羽根共同募金」の呼びかけ
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・ 高齢者（独居老人）への年賀状
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	
福祉体験	・ 5年生の総合的な学習の時間における車いす体験、アイマスク・白杖体験、高齢者疑似体験、聴覚障がいの方の話を聞く会、視覚障がいの方の話を聞く会
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	・ 赤い羽根共同募金
学校間の情報交換・交流等	・ 居住地校交流（東濃特別支援学校）
その他	



市之倉小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【障がいをもつ方、高齢の方について理解しよう】

内 容

今年度は、障がいをもつ方を講師に招き、講演や体験活動を行った。また、地域の高齢者の方のお宅に訪問し、交流を行った。

- 1 聴覚障害について知ろう。
- 2 車いすバスケットボール選手と交流しよう
- 3 地域の高齢の方と交流しよう

児童のコメント

- ・耳が聞こえない方への配慮の仕方が分かった。
- ・口話ができる方もいるので、聞こえていなくてもはっきりと話もするといいいことが分かった。
- ・車いすに乗ってもいろんな事ができるのすごいと思った。
- ・一緒に楽しむことができて楽しかった。
- ・一人暮らしの高齢者の方に喜んでもらえて、嬉しかった。
- ・日頃一人で暮らしている方に声をかけていきたいと思った。

○ 活動面での総括

◎評価できること

障害をもつ方の生の声を聞いたり、車いすバスケットボールを体験したりして、障がいをもつ方や高齢の方の思いを知ることができた。普段はあまり関わりがないので気づかなかったことも、実際にふれたことで、より理解が深まった。そして、自分の身近な存在として認知することができた。

それぞれの道で、自分にできることに挑戦し活躍している姿を目の当たりにし、児童は感動した様子であった。

△今後の課題

今年度同様、可能な限り、いろんな方を学校にお招きしてお話を聞いたり、体験したりする活動を数多く計画していく。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・聴覚障がい者の方を招いて6年生に授業をしていただいた。 ・車いすバスケットボールチーム「岐阜 SHINE」の選手を招いて、全校児童対象にバスケットボール用車いすの体験をさせていただいた。 ・ゲイカップルをお招きし、LGBTQに関するお話をしていただいた。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	社会福祉協議会からの依頼で、地域の高齢者に年賀状を送った。
地域での訪問・交流・体験活動	市之倉地域の一人暮らしの高齢者のお宅を訪問し、6年生がタオルを縫って作った雑巾と、児童が書いた手紙を届けた。民生委員に協力を依頼して、お手伝いいただいた。
学校行事への招待	いちのくら体育授業参観、1年生活科「昔遊び」150周年人文字撮影
美化・環境整備活動等	学校の卒業清掃（6年） 地域のごみ拾い（6年）
福祉体験	車いす体験、高齢者疑似体験を行った。
学校行事外の参加活動	公民館、児童センターへ訪問し、行事に参加した。 地域一斉清掃活動、市之倉夏祭り、子どもスタッフ活動
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	
その他	



滝呂小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【福祉に関わる学習を通じて、その状態におかれた方々と共生していく意識や態度を育てる。】

内 容

身近で、年齢の近い聴覚障がい者のお話を聞くことを通して、障がいについて知り、障がい者と「共に生きる」ことの意味を考える。

生徒のコメント：僕は障がいをもっている人がいるとつい敬遠しがちで、どう接したらよいか分かりませんでした。徳留さんの話を聞いて考え方が変わりました。障がいを持っている人も、そうでない人も差別なくいっしょに共存できる世界にしていきたいと思いました。

○ 活動面での総括

◎評価できること

障がいを身近なこととして捉え、より深く理解したいと考えることができた。

△今後の課題

講演会を通して感じた興味関心を、その後の探求活動につなげること。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・聴覚障害をもっている方（笠原小学校卒業生：徳留美咲さん）のお話を聞いた。 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	・「福祉」に関する様々なテーマから、自分の興味のあるものを選び、タブレット端末や図書館を活用しながら、調べ学習を進めて、レポートを作成した。また、作成したレポートについて、発表会を行った。

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・独居老人への年賀状作成／送付
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	・学校花壇の植苗
福祉体験	・高齢者疑似体験 ・アイマスク、白杖（視覚障がい者）体験 ・車いす体験
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	
その他	・ソーシャルスキルトレーニングの教材を用いて、自身のトレーニングや相互理解を図る。



南姫小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【福祉体験】

内 容

車椅子体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、7 視覚障がいの方の講話

児童のコメント

アイマスク体験をしてみて、周りが見えないということは思った以上に怖かった。点字ブロックや白杖があるとほっとするから、どれだけ大切かが分かった。白杖をもった人がいたら、進んで声をかけたい。

○ 活動面での総括

◎評価できること

車椅子体験やアイマスク体験、講話を通して、障がい者や高齢者の気持ちになって考える学習ができ、優しさや思いやりの気持ちをもって接したいという思いをもつことができた。

△今後の課題

学んだことを生かし、実践する力を付ける。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	学校報や学校のホームページ、学年通信に掲載し、全校児童、保護者、地域の方への広報 新一年生の入学式に付けるリボンを児童会が中心となり作成した。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	手話やバリアフリー、ユニバーサルデザイン、障がい者スポーツ、障がい者施設について、テーマを決めて調査。 校内のバリアフリーについても調査。

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・5、6年生児童による独居老人への年賀状交流
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	
福祉体験	・5年生児童による車椅子体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者の講話
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	
その他	



根本小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【「人と人とのつながりを大切に」】

<内 容>

○宮城県石巻市でたくましく開花したひまわりの種を譲り受け、平成26年からねもと地域力の方々が、「ド根性ひまわり」を育てていることと協賛し、学校で、「ど根性ひまわり」の種を植え、育てる活動を行った。また、育てたひまわりから採れた種を自宅で育てていただけるよう、地域の方や児童の家庭に持ち帰った。来年も続けていく。

○学校に来校された方が気持ちよくなる環境づくりとして、花壇に花を植えた。(6年生)また、新入生に見てもらえる鉢花づくり(1年生)や花壇づくりなどの活動をした。

○1年生の児童が2年生の児童に憧れをもつようにしたり、交流を通して、自分も人に優しく接することが大切だと実感できるようにしたりするため、「おもちゃづくり・おもちゃ遊び」の交流を行った。

「2年生の子がたくさんおもちゃを作ってくれて、楽しく遊ばせてくれたので、とてもうれしかったし、たのしかったです」などという感想がたくさんあった。

○独居の方への年賀状交流ができた。

○ 活動面での総括

◎評価できること

「人と人とのかかわりを大切に」をテーマに、様々な福祉学習・福祉体験ができた。特に、居住地校交流は、複数のクラスで複数回実施するなど、盛んに交流ができた。その際、来ていただいた児童やその保護者・担当の先生などから、非常に喜ばれた。将来、地域の中で生活していく上でも、これらの交流は大変意義深いと考える。

また、さまざまな人や学年での交流ができた。1年生と2年生、1年生と6年生、1年生と新1年生などが、直接的に、あるいは一部間接的に交流することができた。また、地域とのかかわりを充実させることができたことは、大人の姿から多くを学ぶ場にもなり、意義深いものとなった。

福祉体験として、数年継続している高齢者疑似体験が大変有効であると同時に、聴覚障がいのある方の話を聞くことも児童にとって学ぶことが多くあった。

△今後の課題

居住地校交流は、今年度同様、充実させていく。また、地域との連携もさらに強化し、身近な人たちとのつながりから学ぶ機会を設けていく。来年は、根本小学校創立50周年事業も行われる。

「古くても美しい根本小」を心掛け、環境美化活動にも力を注ぐ。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	○6年生総合「福祉学習」において、地域のバリアフリーについて調査し交流した。

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	
学校行事への招待	○体育参観日の日に、居住地校交流を実施し、参観してもらった。
美化・環境整備活動等	○1年生、6年生、特別支援学級：春に咲く花で学校を美しくして、新入生や来校者に喜んでもらうために、鉢や花壇にチューリップやパンジーを植えて手入れをした。 ○2年生・全校児童希望者が、「ど根性ひまわり」の種を植え、育てた。
福祉体験	○6年生 高齢者疑似体験として、車いすの移動、指先の不自由さ、早口ではなされると聞き取ることが困難であることなどを体験した。また、聴覚障がいのある方を招いて講演していただき、その生活の困難さなどを知ることができ、ともに社会生活をしていくために必要なことを学ぶことができた。
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	○居住地校交流
その他	○1, 2年生：新入生を迎える会を実施し、6年生が手作りおもちゃを作製し1年生にプレゼントしたり、いっしょに楽しく遊んだりして人とのつながりを大切にする時間を過ごした。



北栄小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

「地域の一員として、地域に貢献しようとする心を育てる」

内 容

1. 地域の環境を美しくする活動（清掃活動）を通して、地域に貢献しようとする心を育てる。
2. 日常の身近な福祉活動の体験を通して、社会福祉への理解・関心を高め、思いやりの心を育てるとともに、福祉活動に対する実践意欲を高める。

生徒のコメント：

<地域の清掃活動を通して>

- ・通学路や普段よく使っている公園をよく見ると、側溝や草むらに空き缶やペットボトル、お菓子などの袋が意外なほど捨てられていて驚いた。
- ・汚れていたところがきれいになって、とても気持ちがよかった。

<福祉活動を通して>

- ・重度の感音性難聴の方の話を直に聞いて、身近にいらっしゃる障がいをもった方とのかかわり方について考えていきたいと思った。

○ 活動面での総括

◎評価できること

- ・普段、何気なく歩いている通学路や公園にも、よく見るとゴミが多く捨てられている。清掃活動を通して、地域に住む一員として美化に努めることの大切さに気付くことができた。
- ・今回、障がいをもった方から直接お話を聞く機会を設けていただけたことで、身近なこと・知っておくべきこととして学ぶことができた。

△今後の課題

- ・世の中には、今回の難聴という障がい以外にもさまざまな障がいをもった方がみえる。また、高齢になっていくにつれ、少なからずなにかしらの障がいに接するようになる。今後は、障がいについての知識をさらに広げるとともに、障がいをもった方々との交流や高齢者との交流を通し、さらなる理解の拡充へとつなげたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	令和5年度は、実施せず。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	「奉仕作業」として地域の清掃作業の様子を学校 HP で紹介した。 (令和5年度) 令和6年2月16日(火): <u>地域に恩返しします!</u>
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	他者(高齢者)理解を深めるため、高齢者体験キットを身に着け、廊下歩行や階段昇降を行い、身体の不自由さを実際に体験した。

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	令和5年度は、実施しなかった。
地域での訪問・交流・体験活動	令和5年度は、実施しなかった。
学校行事への招待	令和5年度は、実施しなかった。
美化・環境整備活動等	2月16日(火) 地域清掃: 「立つ鳥活動」 ⇒6年生3クラスで実施。掃除中に会った地域の方には、自ら進んで挨拶をし、「すごいね。掃除してくれてうれしいわ。ありがとう!」と声をかけてもらい、もっときれいにしたい!」と、美しくすることへの爽快感・達成感を味わうことができた。
福祉体験	・5/23(火) ⇒重度の感音性難聴の方の話を聞き、相手を思いやる心を育んだ。 ・6月6日(火) ⇒アイマスクを装着しての白杖歩行体験をし、その困難さを体感した。 ・12/12(火) ⇒6年生が、高齢者体験キットを装着し、高齢者の方が抱えている身体の扱いにくさなどを感じた。 ・12/19(火) ⇒車いすに実際に乗車し、操作の難しさや段差を越えることの困難さ等について、考えることができた。 ※保健では、女性の身体を学び体調の変化がある事を知り、学校内だけではなく地域の中でも女性を思いやる心を育んだ
学校行事外の参加活動	令和5年度は、実施しなかった。
収集・募金活動	・2月13日(火)～26日(月)「ベルマーク収集活動」
学校間の情報交換・交流等	令和5年度は、実施しなかった。
その他	令和5年度は、実施しなかった。



脇之島小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【高齢者や障がいをもつ方について学ぼう。】

内 容

福祉体験や調べ学習を通して、学習した内容を学習発表会で発表したり、クイズポスターとしてまとめたりした。

児童のコメント

高齢者の生活や困っていること、様々な障がいをもつ人のことがよくわかった。みんなが幸せに暮らすための工夫が町の中にもたくさんあることを知った。これから自分たちにできることも考え、勇気をもって行動したり、周りの人に伝えたりしていきたい。

○ 活動面での総括

◎評価できること

4年生の総合的な学習で行う福祉体験を通して、普段の暮らしでは気づかなかったお年寄りや障がいをもつ方の苦勞や、生活の工夫を知ることができた。また、自分たちにもできることがあり、みんなで支えあい助け合いながら幸せな暮らしをつくっていくことを学ぶことができた。

△今後の課題

福祉体験で学んだことを実際の生活でどう役立たせたかの振り返りを適宜することで、学習をアウトプットし、児童の実践力につなげていきたい。また、クイズポスター以外にも他学年に向けて、学んだ情報を広げていく活動方法について検討したい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	特になし
学校新聞, 児童・生徒会新聞等の作成	・福祉体験の様子を学校ホームページで紹介した。 ・福祉について学習した内容をクイズポスター(模造紙)にまとめて紹介した。
調査・研究(地域・施設調査, 福祉マップ, バリアフリー調査等)	・4年生が福祉体験で学習した内容を、学校行事の学習発表会で発表した。 ・4年生が福祉に関するテーマを設け、図書館などの本やタブレット(iPad)を使って調べ学習をし、クラスで交流をした。

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・脇之島地区を中心とした独居老人の方へ、4年生児童が年賀状を送った。
地域での訪問・交流・体験活動	・3年生が公民館に見学に行き、交流会を行った。 ・地域の各種の名人を講師に招いて授業を行った。(環境教育, ラジオ体操、書き初め指導など)
学校行事への招待	特になし
美化・環境整備活動等	・3、4年生の児童数名が自発的に公園のごみ拾いを行った。
福祉体験	・4年生児童が、高齢者疑似体験、車イス体験、アイマスク体験、盲導犬との歩行体験などを行った。
学校行事外の参加活動	・脇之島地域行事に、地域スタッフとして登録されている児童がボランティアで参加した。
収集・募金活動	・年間を通したベルマークの収集に加え、年に1回の資源回収を行った。
学校間の情報交換・交流等	・5年生が東農特別支援学校の児童とオンラインで交流会を行った。
その他	特になし



笠原小学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【福祉体験学習】

内 容

高齢者、視覚障害、聴覚障害、車いすのほか、車いすバスケットについて講話を聴いたり体験したりした。

生徒のコメント

社会には様々な人がいるが、お互いに助け合うことで、みんなが幸せになることが分かった。自分も困っている人がいたら声をかけたいと思った。

○ 活動面での総括

◎評価できること

障害があっても、お互いに助け合うことでスポーツを楽しんだりして幸せに暮らすことができることを理解できた。

△今後の課題

疑似体験のため、本当の困り感を体感できるわけではない。障害のある方から直接話を聞く時間を増やしたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	聴覚障害者の講話を聞いた。 車いすバスケットのパラリンピック出場選手の講話を聴き、体験をした。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	総合的な学習の時間のまとめとして、新聞を作成した。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	講話や体験を通して疑問に思ったことなどを調べる活動を行った。

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	なし
地域での訪問・交流・体験活動	一人暮らしの高齢者への年賀状作成
学校行事への招待	なし
美化・環境整備活動等	なし
福祉体験	車いす体験・白杖体験・高齢者体験 聴覚障害者の講話 パラアスリート競技用車いす体験
学校行事外の参加活動	パラリンピック出場選手のアジア大会祝勝会を実施
収集・募金活動	赤い羽根共同募金
学校間の情報交換・交流等	なし
その他	パラリンピックカナダ代表選手への応援メッセージ作成



陶都中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【生徒の自主性を高めることで、福祉や奉仕の心を育む】

内 容

『朝のピックアップボランティア活動』では、年間を通して、地域のゴミ拾いボランティア活動を生徒主体で行った。

生徒のコメント

たくさんの仲間が積極的に参加してくれました。自分たちにできる活動で、地域をとってもきれいにできてうれしかったです。

○ 活動面での総括

◎評価できること

- ・生徒会や委員会を中心にボランティアの啓発や募集を行うことで、他者を思いやって行動する姿が多くみられるようになった。

△今後の課題

- ・今後も生徒会によるボランティア活動を組織的に行うことで、福祉や奉仕の気持ちで行動する自主性をさらに高めるようにする。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・ 整美委員会を中心としたゴミ拾いボランティア活動の広報 ・ 生徒会を中心にボランティア活動の様子を全校放送で紹介
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・ 共栄校区、精華校区のまちづくり市民会議主催の様々な行事でボランティアとして参加
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	・ 地域清掃活動（ゴミ拾いボランティア活動）の実施（毎月2回、年20回程度実施）
福祉体験	・ 居住地交流（3年生徒）
学校行事外の参加活動	・ MSJリーダーズ活動への参加（学校校門でのあいさつ運動）
収集・募金活動	・ 令和6年能登半島地震への義援金募金活動
学校間の情報交換・交流等	・ 連合生徒会に生徒会役員が参加（年2回）
その他	



多治見中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【内面の輝きを求めて】

内 容

地域ボランティア活動に参加する「輝き隊」として、清掃活動や地域の行事の手伝いなど、地域住民との交流を図り、地域貢献や自己の心を磨くことを目標とする。

生徒のコメント

親子で校内をきれいにすることができてよかった。短い時間でしたが、感謝の気持ちをもって作業をすることができた。募金活動では、目標額の１万円を超えることができ、たくさんの募金を送ることができてよかった。

○ 活動面での総括

◎評価できること

生徒（輝き隊コーディネーター）が自主的に運営し、地域行事や公民館等の催し物にて活躍している。

△今後の課題

地域との連携がうまくいかず、連絡がぎりぎりになったり、生徒ボランティアへの連絡が伝わらなかったりしたことがあった。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	学校だより、ホームページ、委員会ポスター、昼の放送、掲示で参加募集を行ったり、活動報告、生徒の活躍や地域からの感謝の言葉を伝えたりした。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	6/17 科学のひろば 坂上児童館 お手伝い 7/29 デイキャンプ 坂上児童館 お手伝い 8/8 いきいきサロン 産業文化センター お手伝い 8/14 ひまわりサロン お手伝い 10/21 伝承遊び in 養正 坂上児童館 お手伝い 10/28 ハロウィンタイム 坂上児童館 お手伝い
地域での訪問・交流・体験活動	7/12 滝っ子防災探検隊 滝呂小学校 お手伝い 7/29 38区夏祭り お手伝い 7/30 さかなつかみ 笠原川 お手伝い 8/5 合同祭り お手伝い 8/16 そよかぜ滝呂台 お手伝い 8/19 第5区夏祭り お手伝い 10/22 第2区ふれあいクラントドゴルフ、スポレク お手伝い
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	校内での花苗育成→滝呂校区青少年まちづくり市民会議主催「花いっぱい運動 花里親募集」地域に花苗を配付 ① 春 6/25 ②秋 11/26 校内花壇整備、校内ベンチ手すりペンキ塗り作業（3年親子） ゴミ拾い登校（通学路清掃）
福祉体験	
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	赤い羽根共同募金(10/30～12/8)→11,441 円
学校間の情報交換・交流等	
その他	



平和中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【全校地域清掃】

内 容

通学路、昭和公園の清掃活動

生徒のコメント

去年の地域清掃を振り返り、重点的に掃除しました。秋ごろと比べるとごみは少なかったですがたくさん拾うことができました。

○ 活動面での総括

◎評価できること

地域の方へ挨拶活動もかねてできた。

△今後の課題

地域清掃以外でも地域に貢献しようとする思いを育てさせたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	生徒会が運営している校内の新聞に活動の様子を取り上げた。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・地域の行事でボランティアとして積極的に取り組んだ。少年の主張大会など ・吹奏楽部が地域行事に参加した。
地域での訪問・交流・体験活動	2年生が12月に職場体験で保育園や病院などで体験活動を行う予定。
学校行事への招待	命の授業で保護者を招待した。
美化・環境整備活動等	・生徒会が中心となり社会貢献活動の一環として、「全校地域清掃」を実施し、通学路や遊歩道の美化活動に取り組んだ。
福祉体験	
学校行事外の参加活動	少年の主張大会など地域の行事にボランティアとして取り組む生徒が見られた。
収集・募金活動	・生徒会が中心となりアルミ缶、ペットボトルキャップの回収を行った。
学校間の情報交換・交流等	・連合生徒会の場において、本校の実践を発表し、他校との交流を図っている。
その他	



小泉中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【主体的に「地域のために」「社会のために」活躍する生徒の育成】

内 容

地域のイベントの運営や校内の募金活動、アルミ缶・牛乳パック回収、花いっぱい運動

生徒のコメント

地域のために活動したことで、地域の方々が笑顔になってくれてうれしかった。餅つき大会などで、自分たちで働き、良いものを提供できて良かった。活動をすることで、地域の活動、環境問題について深く考えるようになり、自分の成長にもつながったと思う。先輩方や先生方や地域の方々ともコミュニケーションをとったりすることで、自分の視野が広がった。

○ 活動面での総括

◎評価できること

地域の方が主催するイベントに積極的に参加し、地域のために活躍する生徒が増えた。

△今後の課題

地域へ貢献する活動について、生徒が企画提案する機会があるとよい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	小泉公民館でのこころのハンドメイド展で、活動をまとめたポスターブースを出した。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	毎月、活動報告を小泉公民館、小泉交流センター、ファミリーマート小泉町店、JA とうと小泉支店に掲示した。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	小泉公民館の盆踊り、こいずみわくわくまつり、小泉交流センターの各種イベント、根本交流センターの夏まつり、喜多町の夏まつり等に参加した。
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	校内での花いっぱい活動に参加、小泉交流センターのクリーン大作戦、根本交流センターの清掃活動に参加した。
福祉体験	
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	校内でのアルミ缶・牛乳パック回収、校内・地域でのユニセフ募金、赤い羽根共同募金、令和6年能登半島地震義援金募金などの活動に参加した。
学校間の情報交換・交流等	
その他	



南ヶ丘中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ
【地域貢献できる生徒会（福祉）活動】
内 容
生徒会（福祉委員会）を中心となり、地域（通学路）清掃や挨拶運動を日常的に行ったり、各種募金活動や福祉施設への車いす贈呈に取り組んだりする。
生徒のコメント
地域に貢献できるボランティア活動を、生徒会が中心となって取り組むことで、福祉やボランティアの意識が少しずつ全校生徒に広げることができている。

○ 活動面での総括

◎評価できること
生徒会リーダーを「MSJ リーダーズ（岐阜県警）」に登録し、「全校のリーダー」としてだけでなく「地域でも活躍できるリーダー」として活躍していこうとする意欲が向上した。
△今後の課題
「地域でも活躍（貢献）できる南中生」という意識を全校生徒に定着するまでには至っていない。この意識を定着し深めていける工夫を生徒会リーダーに考えさせたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	月に一回、生徒会執行部より「生徒会新聞」を発行し、地域（通学路）清掃、アルミ缶回収、共同募金等への参加呼びかけをしたり、生徒の参加状況を報告したりしてきた。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	10月、地域の福祉施設や各種事業所が受け入れてくださり、2年生職場体験学習を実施することができた。
学校行事への招待	アルミ缶回収・リサイクルによる収益で、地域の福祉施設へ車いすを寄贈する贈呈式を計画してきたが、収益金が目標金額に達しておらず、施設訪問の実現はできていない。
美化・環境整備活動等	生徒会（福祉委員会）を中心に、地域（通学路）清掃活動を実施した。この際に使用する道具等を、福祉共育支援補助金で購入した。
福祉体験	
学校行事外の参加活動	年度初めに、各地区の「子どもスタッフ」に登録した生徒が、公民館や児童センターの催し物の運営に協力してきた。
収集・募金活動	10/19(木)～12/8(金)赤い羽根共同募金 11/1(水)赤い羽根共同 MSJ リーダーズ校門募金活動 アルミ缶回収 → 地域の福祉施設へ、車いす贈呈へ ペットボトルキャップ回収 → 発展途上国へのワクチン
学校間の情報交換・交流等	
その他	



北陵中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【「地域とつながる」ボランティア活動】

内 容

生徒会主催地域清掃「さわやかクリーンウォーク」

生徒のコメント

「さわやかクリーンウォーク」では、本当にたくさんの方に参加していただきました。設定した二つのコース両方とも、真剣にゴミを集めて、最終的にはゴミが山積みになるほど集まりました。ゴミの中には、小さなタイヤや、高根山の奥地で発見したダイソンなど思いもよらないものもあり、楽しめて活動できていました。協力して制作した星形キーホルダーもたくさんの方に喜んでもらえて本当に素晴らしい活動になりました！！

○ 活動面での総括

◎評価できること

・「多治見市中学校宣言」と本校の柱である「ボランティア活動」を掛け合わせ、生徒会が自発的に地域清掃を企画、学校評議員の方ともつながり、運営までできたこと。

・昨年度復活した生徒会主催地域清掃に、テーマ「地域とつながる」要素を考え、例年の活動を「ブラッシュアップ」させた活動ができたこと。詳細は以下の通り。

- 1) 地域清掃のプランニングからすべてを生徒会中心に実施した。
- 2) 中学生だけの活動ではなく、地域や小学校に声をかけるために、告知動画やチラシを複数パターン作成し、送付できた。
- 3) 参加したくなる工夫として、参加賞「星形キーホルダー」を考案した。「星形キーホルダー」は材料をそろえ、一から作り上げた。この作成に関わり、中学校でボランティアを立ち上げ、全校体制で作成し、より多くの人がこの活動に参加できるように配慮した。
- 4) 地域清掃を広く告知するために、根本小学校区、北栄小学校区の回覧板のチラシとして掲載を依頼し実現できた。また、両校区の防災無線を活用し、当日朝地域へのお知らせも生徒会が中心となり呼びかけられた。



△今後の課題

・150名を超える参加があった。当日は事故やケガもなく、無事終えることができた。団体保険はかけているものの、張り切って活動してくれる小学生などのけが防止の対策を強化すべきと感じた。安全管理をより一層高め今後も継続的に活動できるとよい。

・地域にゴミが多いということは、それだけ放置していきっているということでもある。年1回の大型企画だけでなく、日常から地域清掃の企画ができるようにしていきたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・特記事項なし。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・生徒会新聞「SKYBLUE」は各月ごとに発行し、写真や動画をたくさん用いた見たくなる新聞を作成した。紙媒体だけでなくデータでもアーカイブを残すことで、いつでも活動を見返すことができ、保護者にも見てもらう機会が増え、活動の理解が広がった。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	・北陵中オリジナルハザードマップの作成

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・特記事項なし。
地域での訪問・交流・体験活動	・生徒会主催地域清掃「さわやかクリーンウォーク」や「あいさつ活動」「地域のボランティア活動」など、地域とともに多方面で活動を行うことができた。
学校行事への招待	・コロナ5類移行を受け、体育祭や合唱祭など、より多くの方にご参加いただける形で運営することができた。
美化・環境整備活動等	・MSJリーダーズの「ゴミ拾い活動」や、生徒会主催地域清掃「さわやかクリーンウォーク」など、環境美化活動をより多くの生徒がかかわって進められた。
福祉体験	・「認知症サポーター養成講座」の実施
学校行事外の参加活動	・ボランティア募集の情報を「ロイロノート」というアプリを通し、全校で共有しながら進められたため、広く告知、多数の参加実績が残せた。
収集・募金活動	・「能登半島地震義援金募金」の実施。 ・「外国人の子どもの学習のために」の募金活動も同日開催。
学校間の情報交換・交流等	・連合生徒会を通し、各学校の生徒会主催の取り組みを交流することで、お互いの良いところを自校でも実施しようという流れができ、能登半島地震義援金募金は市内一斉に実施できた。
その他	・特記事項なし。



南姫中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ 【「地域とのつながり」】
内 容 3年生の総合的な学習の時間では、地域や介護施設などに育てた花を贈呈、1年生は、聾者の方を講師に招聘し福祉共育の理解を深める。
生徒のコメント 地域や施設の方々との関わりの中で、ボランティア活動の大切さを学んだ。また、これからは、自分のできることを考えて生活していきたいです。

○ 活動面での総括

◎評価できること 3年生は、生徒が主体となって地域貢献活動に参加し、ボランティア精神をはぐくめるようになった。1年生については、障がいのある方についての理解を深めるとともに自分ができることを考えられるようになった。
△今後の課題 限られた学年、限られた分野にとらわれず幅広い分野の福祉共育についての取組をしていかなければならない。また、全校体制で考えていきたい。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	7月に社会福祉協議会から紹介された講師(徳留さん)による講演会を開催(1年生)
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	南姫小学校における挨拶運動を実施(生徒会主催によるボランティア活動。)放送によるボランティア活動の呼びかけ、生徒会新聞の発行等。
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	特記事項なし

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	3年生による介護施設、南姫公民館、ふれあいセンター、根本交流センターの訪問。(育てた花のプランターを贈呈。)
地域での訪問・交流・体験活動	園児と遊ぶ玩具や遊ぶ道具などを作成し、姫保育園で保育実習を行った。
学校行事への招待	特記事項なし
美化・環境整備活動等	3年生の地域貢献活動で、地域の通学路の清掃が必要な場所を考え、清掃活動を実施した。
福祉体験	1年生の総合で、車いす体験、高齢者体験、認知症サポーター養成講座、聴覚障がいの方の講話、ふれあいセンターのデイサービスに訪問し、お年寄りとの交流を行った。
学校行事外の参加活動	地域が主催するボランティア活動(春・秋の姫川清掃・夏祭り・どんど焼きなど)に参加した。
収集・募金活動	生徒会を中心としたアルミ缶回収、コンタクトケース回収、ペットボトルキャップ回収などを行った。
学校間の情報交換・交流等	夏と冬の多治見市連合生徒会交流会において、多治見市中学校宣言をもとに、各学校の活動内容を交流した。生徒会を中心として、小学校でのあいさつ運動を行った。
その他	特記事項なし



笠原中学校



○ 今年度の重点活動

テーマ

【地域を清掃し、地域に貢献しよう】

内 容

毎週火曜日の朝に担当地域の生徒が火ばさみを持ち地域清掃をしながら学校に登校する。代表委員が、ごみを集める。

生徒のコメント

地域清掃をすることで生徒自身が地域に貢献でできるよさを感じました。また、地域に目を向け自分たちでできることを考えるようになり、参加できてとてもよかったと思います。

○ 活動面での総括

◎評価できること

地域での清掃活動を地域の方に認めてもらい、地域貢献という点で活躍できている。

△今後の課題

来年度より小学校と同じ敷地で生活するため、活動の仕方を小学生と協力できるように工夫する必要がある。

1. 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	昼の放送や生徒会の出す新聞等で今の現状を伝え、全校生徒で活動できるように広報・啓発活動を行った。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

2. 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	火ばさみを用いて、毎週火曜日地域の清掃活動を行った。 回収してきたごみを代表委員が集めた。その際に回収場所の駐車場や校門の前などの清掃をほうきを用いて行った。
福祉体験	
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	
その他	

